

6 . 単元計画 環境としての「食」を考える - 砂糖について - (配当時間計 8 時間)

題目(配当時間)	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
砂糖について考える (8 時間)	<p>「甘み」に対する人類の熱望を様々な角度から検討する 砂糖って何？ 甘味と砂糖の歴史 砂糖の種類と作り方 砂糖の利用の仕方・動き 砂糖と料理 糖質の摂取量の移り変わり 砂糖は栄養素か？ 糖類の種類とその働き 糖質の体での使われ方 砂糖の効果とその害・・・ 砂糖(糖質)をどれくらいとっているのだろうか？ 糖質摂取量を調べてみよう。砂糖を作ってみよう！ サトウキビや甜菜から糖分を取り出してみよう。 清涼飲料水やスナック菓子に入っている砂糖の量は？ 砂糖を取り出してみよう。 糖分をチェックしてみよう。 砂糖の体に与える影響を確かめてみよう！ 血糖値の変化が体や気持ちに与える影響 もしも、砂糖がなかったら 今回の学習から、感じたこと、わかったことを整理し、これからの生活の中で、君は砂糖とどのようにつき合っていこうと考えるのかをまとめてみよう</p>	<p>「評価の観点」に対応して、各題目ごとに次の点に留意しながら、生徒の活動の「場」を確保するように働きかける</p> <p>問題解決能力を高めるために 活動内容、課題、目標を明確にする 課題への関心、意欲を引き出す 見通しを持たせる 工夫を引き出す 活動の意欲を引き出す 表現を助ける 自己の進歩、変容を確認する</p> <p>学習スキルを高めるために 調べる方法を明確にする 表現方法を高める</p> <p>自分の生き方を考える力を高めるために 自分を客観的に見たり、生活を見直したり、自分との関わりで学習内容を判断できるようにする</p>

評価の観点と方法	教科学習とのつながり など
<p>【関心・意欲・態度】 自分の身体の状態に対して関心を持ち、砂糖と自分の身体との かかわりについて調べることができる。 新奇の体験から自分の現実世界を見つめ直し、新たな発見や疑問を持つことができる。</p> <p>【技能・表現】 調べ学習や実験の方法を理解している。 整理し、結果を伝える方法が身に付いている。</p> <p>【総合的な思考・判断】 他の問題と関係づけて推論したりすることができる。 自分の調べたことが身近な生活ではどうなっているか実験等で確かめ、理解を深めている。</p> <p>「知る」「深化する」「確かめる・納得する」「自分との関わりで吟味する・生活に生かす」の各段階の節目でポートフォリオを作成し、評価する。 生徒自身が自分の考えをまとめ、各段階を振り返ることにより、次の段階に生かすことにも利用できるようにする。</p>	<p>教科から「総合的な学習」へ 各教科で学んだ「知識」「学習の仕方」「事象の見方・とらえ方・考え方」等を、その学習の『場』に応じてどのように活用することができるか。 「健康と食事の関わりに関する知識」(保健、家庭) 自然や社会の事象への関心・意欲・態度(社会・理科・保健) 「課題の発見 - 仮説 - 検証」の方法 「書くこと・話すこと・聞くこと」(国語・LIFE) 自分の考えを論理的にまとめる能力(国語)</p> <p>「総合的な学習」から教科へ 課題解決のための具体的な「活動」の中から得た様々な「体験」を通して、「問題解決能力」「学習スキル」「自分の生き方を考える力」がどのように獲得されたか。 意識化された問題について、自ら解決していくことができるように、問題解決学習形態を確立することができる。 生活と身体の間わりや問題点を、日常の自分の生活のあり方との関係の中でとらえ整理することができる。 自ら及び社会が抱える健康問題について知識や理解を深めるとともに、適切な意志決定・行動選択することができる。</p>